

令和4年1月14日

学生、教職員の皆様

オミクロン株感染拡大に対する本学の警戒レベルの変更について

学長（危機対策本部長） 仁科弘重

愛媛県内における新型コロナウイルス感染確認者（1日あたり）は、昨日200人を超えました。また、愛媛県の警戒レベルは「オミクロン株感染拡大特別警戒期間」となっており、特措法第24条第9項に基づく県民への要請も出されています。本学も、1月だけで（13日まで）、感染確認者が29人（学生28人、教職員1人）出ています。このような状況を踏まえ、12日の危機対策本部会議及び部局長協議会で協議した結果、本学としては、BCP警戒レベルは「3（オレンジ）」が妥当であると判断いたしました。

ただし、現時点では学内で感染が急拡大する可能性は高くないこと、また、これから年度末に向かい、大学の重要な機能である教育、研究などについて、授業では期末試験を行う必要があること、研究（卒業論文、修士論文、博士論文などを含む）では論文作成やプレゼンなどの作業に取り組む必要があることなどを考え、実際の運用は、各部局（学部、機構など）の状況を尊重し、各部局の長の判断によって、「警戒レベル3（オレンジ）」または「警戒レベル2（イエロー）」のどちらかで対応することといたしました。また、教職員が主になりますが、出張、来客の対応、会議などについても、同様の扱いといたします。この対応は、明日、1月15日（土）からといたします。

1月以降、本学では多くの感染が確認されていますが、そのほとんど（9割以上）は、年末年始に県外へ帰省した学生（旧友との同行動や会食）によって、また、その後の学生間の会食によって、起こっています。このような感染を避けていただければ、愛媛大学はもう少し安全な環境になります。学生の皆様は、このことを十二分に認識いただき、慎重な上にも慎重な行動をお願いいたします。

なお、愛媛県は、県外への移動、成人式後の会食など、感染リスクが高いとされている行動を取った人には、無症状であっても、無料のPCR検査を実施しています。「自分が感染していて、他人を感染させる可能性がある」ことを想像し、少しでも可能性があると思う人は、この検査を受けることを強く勧めます。